

週刊

学びのコミュニティ

第 62 号

平成 22 年 10 月 13 日発行

後期の授業が
スタートしました！



後期は 10 の共創型授業と、2 つの教養科目の授業において、延べ 25 名のみなさんが社会人ボランティアとして授業に参加してくださっています。

授業によって 2 名から 9 名の社会人ボランティアのみなさんが学生と共に学び、彼らの発言を促す役割を担うとともに、生涯学習の場として、世代を越えた知の循環を目指していただきたいと思います。学生からすれば、親よりも上の世代の方々。そんな方々に本音をぶつけていいの？そう躊躇し

てしまう学生も多いかもしれません。でも、社会人の方はみな“どんどん発言して欲しい”“遠慮せずにざっくばらんに話して欲しい”など、学生と膝を突き合わせて、本音で語り合いたいと思っています。活発な世代間交流から多くのことを学ばれることを期待しています。

今後、授業の様子を少しずつお届けしていきたいと考えております。どうぞお楽しみに！



新しい学びのカタチ！『水曜学舎』

今年度前期に発足した『水曜学舎一新・学びのカタチー』。学びのコミュニティで行われている自主活動のひとつです。その名の通り、毎週水曜日に開催されています。この活動は社会人ボランティアの方が中心となって話題提供、進行などが行われ、毎週驚くほど熱い議論が繰り広げられています。話題も政治、経済の話から旅や歴史、TV番組の話まで、と非常に幅広く毎回時間が足りないほど。参加している学生は、その議論の奥深

さに、自分の意見を述べる難しさを感じている様子ですが、確実に新しい視点を得て、成長している様子もうかがえます。

この水曜学舎は“学生と社会人が共同して学び合うクラスを立ち上げ、互いに思い切り議論し、理解し、知恵をつけ、豊かな人生をめざします。”をモットーにしています。ぜひみなさんで『豊かな人生』について語り合ってみませんか？ご参加お待ちしております！



～編集後記～

10 月 11 日は国民の祝日『体育の日』でした。例年この日は、運動会やスポーツイベントなどが全国各地で行われます。記憶の中で『体育の日』は晴天が多かったような…調べてみると、1999 年からさかのぼって過去 20 年間に東京地方で 1 ミリ以上の雨が降ったのは、わずか 1 回だったそうです。『体育の日』はいつも晴れていた、そんな子ども時代の印象は間違いではなかったようです。ちなみに、第 2 月曜日に変更になった 2000 年からは雨の確率がぐっと上がったのだとか。

最近ひしひしと運動不足を感じます。体と心の健康。どちらも大切な『やる気』の源だなと実感しつつ、気持ちの良い汗をかきたくなりました。(境) (光永)